

文章博士

Monjo-Hakase: Web-based Automatic Text Correcting Assistant for Technical Writing

技術文書・テクニカルライティング向け自動校正支援システム

<http://njc.lunark.org/>

利用の手引き

1. はじめに

文章博士（もんじょうはかせ）は技術文書の校正を支援するソフトウェアです。

さて、説明文は高度な内容の伝達のために、内容や文法が複雑になりがちです。このような問題を解決する為に、本ソフトは開発されました。あなたにとって、技術文書、論文の添削に役立つ強力なツールとなるでしょう。是非ご活用ください。

※もちろん、書いている文の内容についてのツッコミはできません。あしからず。

さて、このソフトウェアは以下の技術を利用して作られています。

日本語係り受け解析器：CaboCha (<http://cabocha.googlecode.com/>)

校正支援ソフトウェア：jcorrect (<http://www.ispl.jp/~oosaki/research/tips-jcorrect/>)

上記2つのプログラムが弾き出す解析結果を使い（一部文書博士自身も解析を行います）、文章が文法的に煩雑になっているところや、誤っている可能性の高い場所を指摘してれるというのが、文書博士の本ソフトウェアの機能です。

これをまず先に説明すると、「既にそういうソフトあるんじゃないか」「なんでみんな使わないの?」ということになるでしょう。実は、上記2つのソフトウェアは、インストールのためには事前に「コンパイル」といった作業が必要だったり、コマンドを打ち込んで解析しなければなりません。

パソコンに詳しくない方は上の話は宇宙語のままでOKです。

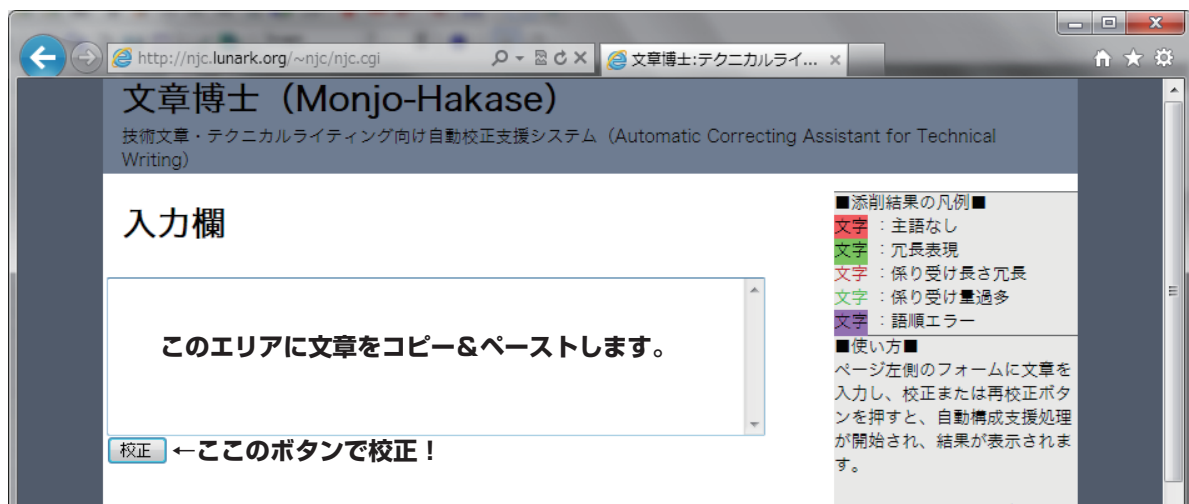
とどのつまり「とても使い勝手が悪かった」のです。

「これはいかん!」という事で作ったのがこのソフトウェアです。上記のソフトウェアが弾き出す文法の誤りを見やすく表示し、訂正の必要な箇所を指摘してくれる、というわけです。

まあ、まずは使ってみてもらえると良いかと思えます。

2. 使い方

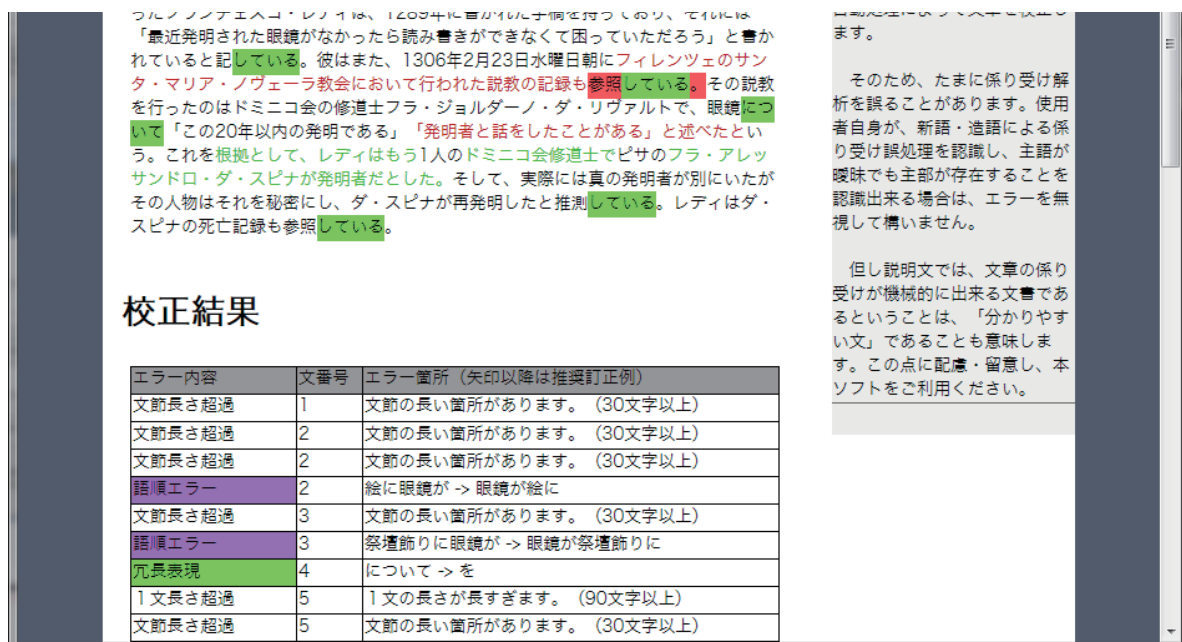
使い方はとっても簡単。タイトルに書いてあります URL 「<http://njc.lunark.org/>」を入力し、利用開始ボタンを押してください。以下のような何かシンプルな画面が見えるでしょう。この入力欄に、文章を流し込み、[校正] ボタンを押してください。



さて、文章を流し込み、結果を表示した画面が以下のものになります。
なにやら一杯エラーが出ていますね。



この校正結果をもっと下にスクロールしてみました。校正結果の一覧が、文番号並びで表示されています。このように、入力した文章に対して、自動的に係り受け解析した結果、校正が必要かもしれない箇所にチェックが入ります。



このエラーをもとに、文章を直していきます。基本的にはマニュアルも画面右側に表記していますので、そんなには難しくないでしょう。ページの末端には、どういときそのエラーが出るかという、エラー内容に対する解説をつけてありますので、慣れるまではご一読ください。

上の画像の「再校正」というボタンを修正しつつ押して、少しずつエラーを減らしていきましょう。

3. 本ソフト利用の効果

では、このソフトはどの程度効果があるのでしょうか？実際に校正した文章で見比べてみましょう。

■修正前

本卒業論文のテーマは、記述した論文の可読性を上げる時間を短縮する装置の作成と、これを利用した際の伝達性の向上の評価を行う方法の提案である。

とりわけ技術文書は、専門用語が多く、高度な問題を説明するものである。そのため、文章が煩雑になりがちであるという問題を抱えている。この問題を解決するために、文章の可読性を上げ、内容を明瞭にする為の「テクニカルライティング」という手法による解決方法が、多く提案されている。

■修正後

本論文は、技術文章の可読性問題を解決する手段の制作過程と、その効果を測定した報告である。

技術文書は、専門用語が多くなりがちであり、かつ高度な問題を説明する事が多い。そのため、文章が煩雑になりがちであるという問題を抱えている。

この問題を解決するために、文章の可読性を上げ、内容を明瞭にするにする手法が多く提案されている。「テクニカルライティング」という手法は、一つの実例である。

如何でしょうか？かなり文章がすっきりしていると思います。

もちろん、これは皆様の文章作成能力にも左右されます。ですが、「文書博士」は、文法と係り受け上の問題から、誤読しそうな部分にエラーを発生させ、そこについて使用者への注意を傾けさせる作りとなっており、校正という作業が、「大量の米粒から特定の1粒を探し出す」ような作業にならなくなる、という利点があります。

これによるストレスの軽減は、校正という作業をゲーム感覚にすることでしょ。つまり、文章作成者は、文章作成という作業に没入できることとなります。そして、校正に使っていた時間は、文章の改善の新たなアイデアを練ることにもっと有効活用出来ることでしょう。

皆さんも使ってみるとわかりますが、一番最初に入力した文章からは似ても似つかない、言い回しも、文章の順番も別の文章が出来上がると思います。しかし、それは簡潔に表現され、わかりやすく、誤読の少ない文章となっていることでしょう。

4. ライセンス表示

Monjo-Hakase: Web-based Automatic Text Correcting Assistant for Technical Writing
Copyright (C) 2011 Lunarsat Network.

This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see <<http://www.gnu.org/licenses/>>.